

## 平成 26 年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(多気町) の概要

10月28日(火)に「相可坊」(松阪紀勢界隈まちかど博物館)で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、多気町相可地区で地域の振興に取り組んでいる「相可団<sup>もっと</sup>MOT」の皆さん8名に、活動内容や課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



### 【参加者からの発言】

代表から「相可団 MOT」の活動について紹介していただいた後、メンバーの皆さんから、自己紹介していただくとともに、試食品やトーク会場の紹介をしていただきました。

(「相可団 MOT」の活動内容紹介)

○地元の消防団の集まりを機会に互いの交流が始まり、消防団を引退してからも、「もっと (MOT) 楽しめるまちにしたい」「もっと (MOT) 住みやすいまちにしたい」という思いから、平成 24 年に発足した。

○相可地区を中心に、地元商工会、観光協会と連携して、夏祭り等の地域イベントに全面協力するとともに、環境美化活動にも取り組んでいる。

(試食品「まつかさ餅」の紹介)

○特徴としては、沖縄県産の黒砂糖を使用した餡を生地で包み、その上にもち米をまぶしている。見た目が松ぼっくりに似ていることから、「まつかさ餅」と名付けられた。

(トーク会場「相可坊」の紹介)

○昔、敷地内には病院があり、「相可坊」は医者の住宅であったが、空き家となった

め、現在は地域の交流場所として有効活用している。

**Q. 「相可団 MOT」の活動に参画してよかったこと、嬉しかったこと、自慢についてお聞きしたい。**

- 「相可団 MOT」には、電気屋や商売人などのスペシャリストがいて、そのスペシャリストのネットワークができることで、スムーズに活動できるようになった。職場でもチームワークを大切にするようになり、他の職種の方と積極的にコミュニケーションを図るようになった。
- 夏祭りを盛り上げようと商工会で頑張っていたが、売り上げも頭打ちになって悩んでいるときに、若いメンバーによる「相可団 MOT」ができ、夏祭りを盛り上げてくれた。若いメンバーとの出会いが何よりの財産である。
- 「相可団 MOT」は、発足当初 10 人程度の団体だったが、今では 20 代から 50 代までの 30 人程度の団体となった。世代を超えて集まることで、自分と違う価値観を知り、価値観や考え方の幅を広げることができた。
- 「相可団 MOT」に入ることにより、先輩や後輩とのつながりができたことがよかった。また、祭りをするにあたって、地域の方に声をかけると、お菓子やかぼちゃをいただくなど、多くの方に協力していただけたことが大変嬉しかった。
- 今まで寂しかった夏祭りを手作りゲームなどで盛り上げることによって、地域の人に感謝されるようになったため、やりがいを感じるようになった。
- 「相可団 MOT」の集まりに、県外からの転入者の方に来てもらったところ、子育てなどの困っていることを相談できたと言ってもらい、メンバーに加わってもらうことができた。
- 山形県出身で、就職をきっかけに多気町に住むようになったが、多気町はイベントが多く、毎回多くの人が集まることや、業者同士の連携など一体感があることがすごいと感じた。「相可団 MOT」では、初めて会う人たちばかりだったが、すぐに打ち解けることができ、楽しんで活動している。
- 「相可団 MOT」に入って、母親同士で子育ての相談ができるようになった。これからも子育て世帯を巻き込んでいくために「女性部」を発足させたい。
- 県外の方や女性の方が「相可団 MOT」に入り、他の視点から物事をみてもらうことで、新たな気づきを得ることができた。

**Q. 今後の飛躍に向けた課題についてお聞きしたい。**

- 町おこしは自分たちでするので、各地で成功している街並みの紹介など情報を提供してもらえれば嬉しい。
- ステップアップとして、隣接する地域に「相可団 MOT」を PR していくために、地域の活性化に苦労した話をしてくれる人やコーディネーター的な人を紹介してほしい。
- 地域を活性化するために、今ある資源を活用する手法を自分たちで考えているが、多気町にあるものはどこにでもあるものが多いと思う。他地域との連携など、今ある資源を活用する手法を教えてくれる講座やコーディネーター的な役割の人がほしい。

## 【知事の発言】

- 県民意識調査で地域活動に参加する頻度が高い人ほど幸福実感が高いという結果がでている。「相可団 MOT」をきっかけに、地域の活動に参加してネットワークができることで、メンバーの皆さんの幸福感が高まっているのではないかと思う。
- 街並みづくりなどの成功例については、三重県の担当部局に聞いていただければ、すぐに情報を提供させていただくが、情報にアクセスしやすい環境づくりを進めていきたい。
- 地域の活性化に関する人の紹介については、地域防災総合事務所に地域の皆さんのまちづくりを応援する機能があり、「美し国おこし・三重」として取り組んでいるため、地域防災総合事務所を活用していただきたい。
- また、「みえの現場・すごいやんかトーク」のホームページにもいろいろな活動をしている団体を掲載しているため、話を聞いてみたい団体について三重県の企画課に問い合わせただければ、紹介させていただく。
- 地域の活性化に関する手法を教えてくれる講座等については、県の事業として講習会やセミナーを開催しているため、そういった情報を知しやすい方法として、情報の集約やアクセス、アプローチの仕方をしっかり考えたい。
- まちづくりに関して、仮に他の地域に同じものがあっても、伝え方を工夫することによって、注目を引くケースもあるため、積極的にPRしていただきたい。
- 自分たちの手で、自分たちの力で、自分たちの思いで、自分たちの地域をよくしていこうというメンバーが集まっていると感じた。こういう人たちが三重県内に増えていくように私たちもしっかり努力していきたい。



「相可団 MOT」は、多気郡多気町相可地区を中心に、地元商工会、観光協会と連携して、夏祭りをはじめ年越し行事、地元商店の地域イベント等に全面協力し、また環境美化活動にも積極的に取り組んでいる団体です。